

— 下妻市では子育てを応援します —

遊びに行こう！ 子育て支援センター

市では、少子高齢社会と人口減少社会に直面している大きな転換期の中、将来を見据え、子育て世代が安心して子どもを産み育てやすいまちを目指して、多彩な子育て支援事業に取り組んでいます。子育て親子の交流の場となる「子育て支援センター」

「ター」では、4月1日にもみの木保育園に併設した「もみの木ふれあい広場」が新規オープン。6月2日に移転・リニューアルオープンした「あうるくらぶ」と合わせて2施設に拡充しました。今回は、市内にある2つの子育て支援センターを紹介します。



親子で楽しむ「ふれあい遊び」



元気いっぱい「自由遊び」

4/1 新規オープン

6/2 移転
リニューアルオープン

もみの木ふれあい広場



子育て支援センター「もみの木ふれあい広場」センター長 館野めぐみさん

「核家族が増える中で、子育てに不安を抱え、地域との接点がない親子がいます。もみの木ふれあい広場では、先生方やおじいちゃんやおばあちゃん、お友達といった家族感覚で一緒に遊んで、相談してもらえようというアットホームな雰囲気づくりを心がけています」と見守ります。

**アットホームな
雰囲気の中で交流**
子育て支援センター「もみの木ふれあい広場」は、もみの木保育園の中にあります。保育士が企画する「ふれあい遊び」「うんどう遊び」など親子で楽しむ活動が定期的に開催。「サークル活動」では保育士、栄養士、看護師が子育ての心配ごとの相談を受けます。また、保育園の中にあるので、砂場や遊具、三輪車など園庭で遊べるのも魅力の一つです。



絵本の読み聞かせは、子どもたちに大人気



園庭には遊具やおもちゃが充実、楽しく遊べます

あうるくらぶ



あうるくらぶイメージキャラクター「あうるくん」



社会福祉法人 清水福祉会 理事長 寺生 浩子さん

豊かな自然を生かした親子活動
平成24年10月に、本市では最初の子育て支援センターとしてオープンした「あうるくらぶ」。6月2日に西原保育園の移転に伴い、高道祖小学校の近くに移転・リニューアルオープンしました。これまで施設の課題であった駐車場も広く整備され、利便性が高まりました。
理事長の寺生さんは「自然が豊かな環境に引越してきたので、自然とふれあう遊びや野菜・花壇づくりなど新しい企画をしていきたい。これまでの運営の中でお父さんの参加が少ないこともあり、今後はお父さんと子どもたちがふれあう機会や、おじいちゃん・おばあちゃんでも、預かった孫と一緒に遊びに来られるような環境づくりを目指したい」と意欲を見せています。



広々とした園庭に、楽しい遊具が新設



親子でふれあいコミュニケーション「手遊び」

子育て支援センター「もみの木ふれあい広場」

利用日 月～金曜日（祝祭日を除く）
午前の部 午前9時～正午
午後の部 午後1時～3時

利用料 無料 ※ただし、お誕生日会やおやつなど一部に参加費あり

場所 下妻市半谷430番地164（現・もみの木保育園内）

電話 43-6821

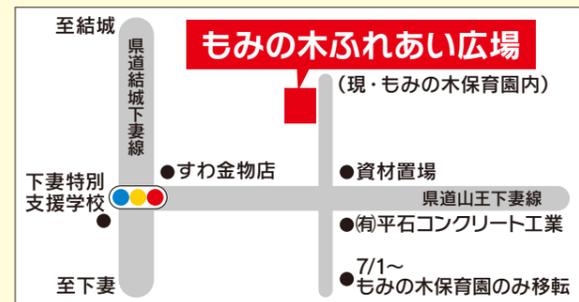
子育て支援センター「あうるくらぶ」

利用日 月～金曜日（祝祭日を除く）
午前の部 午前9時～正午
午後の部 午後1時～3時

利用料 無料 ※ただし、体験教室など一部に材料費あり

場所 下妻市高道祖5160番地（西原保育園併設）

電話 44-2983（FAX共通）



MAMA'S VOICE

「家にはないおもちゃがあり、いろいろな遊びを教えられるので、親子ともに気分転換になっています。子育てに悩んだりした時は、いつでも先生方に聞いてもらえて安心です」

磯 奈央さん・心陽ちゃん（1歳10か月）

MAMA'S VOICE

「新しい施設は、広く、明るくなりましたね。いつも私にべったりだった子どもが、あうるくらぶでは他の子と遊ぶようになりました。私はお母さんや先生たちとの会話にリラックスしています」

長堀 典子さん・菜奈ちゃん（1歳8か月）

